



⑯ 「もうコドモじゃないんだから」!?

2013.3 執筆

シウンが2才になりました！

私はキヨミズとミライの子を3頭見て来ましたが、コドモがここで2才を迎えるのは初めてです。

キヨミズが京都市動物園に来たのは1歳半でしたが、その時私はキリンを担当していなかったので、2才のキリンと向き合うのも初めてです。

シウンは2才を迎える少し前から、ちょっと変化が見られました。11月に引っ越しを終えましたが、まだその頃はそんなに変化は見られなかったのにそれから2～3ヶ月のことです。

変化というのは、「シウンがオトナになったなあ・・・」という変わり目を感じるようになったことです。今までの行動はコドモでした。それは当然のことですが、私自身それをあまり何とも思いませんでした。しかし、シウンがちょっと大人っぽくなったと感じた時に、今まではコドモだったなあと改めて感じたのです。

ちょっと表現が難しいのですが、今まではいつもニコニコしていて（擬人化した表現ですが・・・）好奇心丸出しみたいな活発さがありましたが、このところちょっとツンとしたところがあるのです。例えば、こちらがシウンを呼べば「なに、なに？」って感じですがすぐに寄ってきたのに、それが呼んでもわかっているくせにツンとして遠くを見つめたままこちらの方をチラッと見ないのです。もちろんまだまだコドモだなという無邪気なところもあるのですが。

2才になる寸前までいたオスの子はそのような変化は感じられず、いつまでもコドモっぽく、甘えっ子といった感じでした。

搬出のため、お母さんと別々にして過ごさせる練習をしましたがお母さんが見えなくなると急に顔色が変わってお母さんを探します。そして、ウロウロがセカセカと動くようになり、いくら大好きな葉っぱを差し出しても食べないのです。また、首を後ろにググ〜ッと反らせる行動が見られました。この行動はキヨミズが1歳半で来園したときにもひどく見られたと当時の担当者から聞いて

ています。私たちが「首反り」と呼んでいるこの行動は、不安な時に頻繁に見られるようです。

それと、お客様からの質問でよく聞かれるキリンの鳴き声を耳にしたのはその子で何度も聞きました。初めは「鳴いた」とは思えず、船の汽笛の音に聞こえました。つまり「ポー」といったような音です。お客様に答える時は「ウシに近い声です」とお伝えするのですが、モーとポーの間くらいの声でした。そうでなくても甘えっ子に感じたオスのコドモですが、その後の2頭のメスとはやはり違う感じでした。

私がアカゲザルを担当していた時も、オスとメスの性質の違いはコドモの時にはっきりと感じました。オスはとっくみあいをしたり、ハードな遊びをしたり、オトナオスと遊んだりすることが多いのですが、メスの子は自分より後に生まれた小さなコドモをとにかく抱きたがり、母親の隙を狙っては盗んで（表現は悪いのですが本当にそのような感じでした）抱っこしたり、手を引いて引きずったりしていました。

我が家で飼っているオスのネコも、以前飼っていたメスとは違い何歳になっても子供っぽく、甘えん坊です。メスはとてもクールでした。

このように、どの動物にも（もちろんヒトも）オスとメスは共通するそのような違いがあるのだと思いました。

そんなちょっとクールになったシウンが、私が呼んでも知らんぷりしている顔は「もう、コドモじゃないんだから！」と思っているかのように感じるので。ちょっとオトナになったシーちゃん、2才のお誕生日おめでとう！ミライのような良いお母さんになれる日を楽しみにしています。



シウン生後1ヶ月  
← (2011.4 撮影)

左：お姉ちゃんになった  
シウン(右：ウリュウ)  
(2013.8 撮影) →

